

～男女共同参画社会の実現に向けて～

# モア MORE

さって ひと ひと  
幸手市女と男の情報紙  
第9号 2004

モア (MORE) とは、より多く、より素晴らしいものにと、さらに女と男がより豊かに、と願いを込めて、この情報紙を命名しました。



題「ぼたん」 井上清次郎さん (中2丁目在住)

おじいちゃん

おじいちゃんは、ビールが大好き。  
「もつ、飲まない方がいいよ。」  
と言っても、

「ビールもつてきて。」  
と、たのんでくる。

この間、

「ビールをついでくれ。」  
と、たのまれた。

おじいちゃんは、  
うれしそうにグラスをかたおけた。  
あわが、だんだんあふれていくのを、  
目であつていた。

顔中しわくちやにして、  
ついだばかりのビールを

ごくごくとのみほした。

「もう一ぱい。」  
というような幸せそうな顔。

おじいちゃん、一人くらしなんだから  
体に気をつけてね。

元気で、また会おうね。

今度は、ビールを

大ジョッキについであげるよ。

幸手東小学校

六年 萩原 絵利香

(平成十八年三月現在)

## 埼玉県男女共同参画推進センター

# With You さいたま

を紹介します。

男女の人権が尊重され、ともに自立したパートナーとしてあらゆる分野に対等に参画できる、活力ある男女共同参画社会そんな社会の実現を目指した「埼玉県男女共同参画推進センター」愛称「With You さいたま」があります。

21世紀の重要課題である男女共同参画社会の形成に向けての情報、交流、活動拠点としてみなさんも利用してみませんか。

### 情報収集・提供事業

情報収集・提供事業では男女共同参画に関する図書・行政資料、民間団体やグループ等が発行する資料、雑誌、新聞、ビデオ等を収集し、情報提供しています。

また、インターネットを利用して所蔵資料の検索や貸出状況を調べることができるほか、With You さいたまのホームページにアクセスし、施設案内や講座・イベント情報などをキャッチできます。



### 相談事業

電話相談、面接相談、弁護士・医師等による専門相談、インターネット相談、グループ相談を行っています。

相談は無料。秘密は厳守します。  
(詳しくは下記をご覧ください。)

### 自主活動・交流支援事業

男女共同参画を推進する個人・団体の活動を支援するとともに、各関係機関・団体のネットワークづくりを進めています。

#### 【相談内容】 (埼玉県に在住・在勤・在学の方を対象にしています。)

##### ◆電話相談 TEL 048-600-3800

相談時間

・月～土 10:00～21:00 (受付10:00～20:30)

・日・祝日 10:00～17:00 (受付10:00～16:30)

##### ◆面接相談 TEL 048-600-3800

電話で予約してください。

##### ◆専門相談

電話で予約してください。

専門家による各種相談を行っています。

##### ◇法律相談

女性の弁護士が相談に応じます。

相談日 第2木曜日 18:00～21:00

第4火曜日 13:00～16:00

##### ◇医療相談

女性の医師・臨床心理士が相談に応じます。

第2火曜日 16:00～18:00 (からの相談日)

第1・3火曜日 14:00～17:00 (こころの相談日)

第4木曜日 19:00～21:00 (こころの相談日)



##### ◆インターネット相談

受付は24時間可能です。

相談には後日インターネットで回答されます。

ホームページアドレス

<http://www.withyou-saitama.jp>

##### ◆グループ相談 TEL 048-600-3800

電話で「With You さいたま」へお問合せください。

保育室もあります。

1歳半から就学前のお子さんがいらっしゃる方は、  
面談の際に、一時保育がご利用になれます。

(予約制)

# With You さいたまから

With You さいたまでは、講演会や企画展示のほか、埼玉県の課題講座や女性のエンパワーメント、就業支援を目的としたパソコン講座、女性のためのこころとからだの健康講座など各種講座を実施しています。

## 平成15年度事業について

平成15年度には内閣府と埼玉県の共催による「平成15年度男女共同参画フォーラム in さいたま」を2月5日(木)～8日(日)に開催し、作家の神津カンナさん、講談師の宝井琴桜さんによる講演などを行い、県内外から大変多くの方々にご参加いただきました。

また、埼玉県の男女共同参画推進のための拠点施設として、毎年「埼玉県の課題講座」を行っており、今年度は「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」と「女性とメディア」をテーマに取上げ、それぞれ3日間ずつ講座を開催しました。この講座は昼間働いている人にも参加していただけるよう、金曜日の夜間(7時～9時)に行いました。

このほか男女共同参画週間には、前年度に実施した調査研究の報告会を行ったり、10月の仕事と家庭を考える月間には、情報ライブラリーによる企画展示「楽しく生きるー仕事って、家族って何だろう?ー」を開催したりと、国が定めた記念週間や月間に合わせたイベントも行っています。

## 平成16年度事業について

平成16年度も引き続き、女性のエンパワーメント、就業支援を目的としたパソコン講座や、女性のためのこころとからだの健康講座を実施するほか、「埼玉県の課題講座」では、調査研究の結果を踏まえ、子育て期の人を対象とした講座を平日の午前中に開催する予定です。

また6月の男女共同参画週間には、昨年に引き続き平成15年度の調査研究報告会を行います。今回のテーマは「要介護高齢者への介護労働の"社会的役割による女性への押しつけ"の現状とその社会的容認の要因についての実証的研究」「中高年女性を対象とした、身体の癒しプログラムによる社会的・精神的効果の調査」及び「親の意識と子どもの社会性についての調査」の3本です。

情報ライブラリーの企画展示やパネル展なども随時行っていきますので、是非お立ち寄りください。皆様のお越しをお待ちしております。

## 施設概要

With You さいたまでは、利用者の皆様のニーズに合わせ様々な設備が整っています。会議やセミナー等に最適です。  
(費用等詳細はWith You さいたまへお問い合わせください。)

セミナー室 1・2・3・4・5	会議や研修に最適です。 AVワゴン、スライド映写機、OHPなどが利用できます。
視聴覚セミナー室	充実した映像設備や音響設備、電動スクリーンなどがあり、映像・音楽を取り扱う研修・講座やミニ講演会に最適です。
こころとからだの 実習室	フローリングの床で、壁が鏡張りの部屋。 更衣室、シャワー室を併設し、フィットネスルームとして、その他様々な身体を使った研修などに利用できます。
和室	畳敷きの約20畳の部屋。 介護や育児講座、小さなお子さま連れのグループの打ち合わせなどに最適です。
準備室1・2	講師の控室などに利用できます。 (原則として、セミナー室などとセットでの利用になります。)
保育室	センター主催事業のない時に、セミナー室などとセットで利用できます。 (保育士等は利用者自身の手当となります。)

## With You さいたま

埼玉県男女共同参画推進センター

〒330-0081  
埼玉県さいたま市中央区新都心2-2  
TEL 048-601-3111  
048-600-3800 (相談専用)  
FAX 048-600-3802  
開館日 毎日(年末年始12月29日～1月3日・  
毎月第3木曜日を除く)  
開館時間 9:30～21:00 月～土曜日  
9:30～17:30 日曜・祝日



さいたま新都心駅から徒歩5分・北与野駅から徒歩6分

## ひと ひと 女と男の共生セミナー

テーマ「自己実現に向けて」

平成15年11月4日から4回コースで、女と男の共生セミナーが市役所で開催されました。日本女性会議報告のあと、自己開発学習コーディネーターの金子朝子さんをお迎えし「自己実現に向けて」をテーマに講義が行われ、26名の参加がありました。



リズムカルなお話して参加者を引きつける金子さん

第1回「女からの旅立ち・社会参画はいま」では、結婚した女性は子供と同じだけの権利しかなかった大日本帝国憲法から男女平等を唱えている日本国憲法への移行の過程のお話があり、「人間は平等なので、男女が協力しあって幸せな世界を作っていくなくてはならない」というお話のあと、グループに分かれて、幸手市のジェンダーについてブレインストーミングを行いました。

第2回「近・現代史の中の大先輩」では明治から現代までの女性史より、津田梅子・横田英・景山英子・平塚雷鳥など様々な人の活躍ぶりをお話いただきました。

第3回「エイジズムとセクシズム」では年齢による差別と性差による差別のお話がありました。基本的人権と個性はいくつになっても尊重されなければなりません。また、中国の従軍慰安婦の訴訟問題についてのお話もあり、戦争は、人の命だけでなく人間性までも奪ってしまうものなのだと考えさせられました。その後、グループに分かれ身近で感じるジェンダーについてブレインストーミングを行いました。

第4回「私が、世界の平和をつくります」では、戦争中は人は勝つための道具でしかなく人間を全否定されてしまうので2度と戦争は起こしてほしくないというお話でした。私は国の一部分では無く、私が国を造っているという意識を国民一人一人が持っているデンマークのお話もして下さいました。その

後、5名の参加者がジェンダー問題を取上げロールプレイングにチャレンジ、見ていた参加者と共に活発な意見交換がありました。

金子さんの優しく穏やかな語りで、あっという間に4回のセミナーが終了してしまい、もっといろいろお話をお聞きしたかったという声が多数ありました。

注釈：

ブレインストーミング：自由討論方式で多くの意見を出しあい、独創的なアイデアを引き出す集団思考法

ロールプレイング：役割を与えて演じさせ、それを通して問題点や解決法を考えさせる訓練方法

## 「歌うこと、演じること、そして生きること」

男女共同参画推進講演会

今年度のテーマを「女と男 共に広げよう 平和の心」と題し、平成15年7月26日、平和のつどい・男女共同参画推進講演会を開催いたしました。

第1部の「平和の作文」入選作表彰と特選作文の朗読、講評後、第2部で「歌うこと、演じること、そして生きること」と題して、女優として、歌手としても親しまれ活躍されている倍賞千恵子さんにご講演をいただきました。

倍賞さんは幼い頃より歌が好きで合唱団に入っていたことや松竹歌劇団に入団後、映画界に入られたこと、才能を見極め引出してくれた両親や姉弟に感謝しておられること等、笑いや歌を交えて話されました。また、もう1つの家族、映画「男はつらいよ」で共演の渥美清さんをはじめ多くの出演者の方々との出逢いや別れ、エピソード等、凛として語られました。そして何事も面白がって挑戦し時間を上手に使い「楽しく料理して、楽しい人と楽しく食べること」が健康法と語り、会場からの質問やリクエストサインも明るく対応される倍賞さんに満員の会場からは大きな拍手が沸き起こり、美しい歌声と共に感動がいつまでも心に広がる講演会でした。



歌をまじえてのすばらしい講演会

## ひとひと 「いのちの世紀びわ湖で輝け女と男」 日本女性会議参加報告

男女共同参画社会の実現を目指し、平成15年10月17・18日、滋賀県大津市において『第20回日本女性会議2003おおつ』が開催されました。

全国から3,500人が集い「いのちの世紀びわ湖で輝け女と男」のテーマのもと討議しました。

まず、シンポジウムでは、次世代メンバーによる男女差別の現状発表がありました。《家事・育児・両親の姿で子は育つ》《男女の役割分担は話し合いから始まる》など16の提案を通して、1人ひとりが自らの課題として取組んでいく重要性を訴えました。特に《男女共同参画社会、この言葉、必要なくなる社会を目指そう》の力強い提言が、参加者に大きな感銘を与えました。



分科会では、人権・子育て・メディア・高齢社会など12項目にわかれ、男女があらゆる分野で個性と能力を発揮出来る社会の構築を呼びかけました。

そして、「平和と命の大切さ」と題して切々と語った瀬戸内寂聴さんの記念講演。「元始、女性は太陽であった」と、女性の自立を主張した平塚雷鳥さんたちの貴重な道のりと、女性の歴史を強調され、テロや戦争と大きく変わってきた世界情勢に触れました。「平和なくして平等はない！たった1つしかない大切な命。決して他の命も奪ってはいけない。生きている自分の存在が、まわりの誰かを幸せにしている。幸せは人権だから、全ての命が生きる豊かな地球と共に遵守しよう」と結ばれた言葉に歩んでこられた多くの思いが込められているようでした。

21世紀が平和で平等な社会であることを願い続け真の男女共同参画社会を未来へつなげることを誓い合いました。そのためにもまず、自分の考えを持ち、積極的に社会参画をして、輝く自分に向かって進んでいこうと思います。

意義深い第20回日本女性会議でした。

## 輝きコーナー 我が家の場合

今回は高須賀で木型製作所を営んでいる八巻光義さん・清子さんご夫妻をご紹介します。

光義さんは、昭和27年に、福島県から川口市に木型の見習として上京され、10年間修業、ご結婚と同時に昭和36年11月1日に親会社の協力工場として、工場を高須賀に設立し、ご夫妻と弟の3人で始められました。今では社員15人の活気あふれる木型工場となっています。広い工場の中には、近代的な大きな機械が沢山あり、以前は、手仕事で一週間かかって作っていた木型も今では、コンピューターを利用し一晩で出来上がってしまうということでした。製図も、キャドによる特別な技術で作成していました。形のあるものには木型があり、鋳物の前には、必ず木型があるという説明を受けました。幸手市のマンホールのふたをはじめ全国に、八巻さんの工場で作られたものがあり、将来はお2人で旅行をしながら見て歩きたいとおっしゃっていました。光義さんは、木型製作1級技能検定の日本で第1号の合格者

であり、その上中央技能検定協会木型科の検定員でもおられ、検定試験の課題作成をしていらっしゃることもありました。光義さんのご趣味は、33年のキャリアを持つゴルフで、ゴルフを通じて沢山の方々と知り合うことが出来たと穏やかにお話をして下さいました。また、清子さんは18年間ボランティアをされ、地域の皆様に貢献されています。そしてボランティアに行かれる時の送迎は光義さんがされているとのこと、とても温かなユーモアのある素敵なお2人でした。いつまでもお元気で輝いて下さい。



八巻光義さん・清子さんご夫妻

注釈…キャド(CAD)  
コンピューターを利用した設計のこと

## ときめき感動の時

## 手紙

「メル友」そんな言葉が、すっかり根づいた生活。メールの良さは、電話を受けられない時にも正確に確実に届く事、手軽さ、そしてその速さなど大いに魅力があります。忙しい現代、私達にはコミュニケーションの手段として広まっているのもよく理解できます。勿論、私の生活の中でもパソコン、携帯電話は、なくてはならない重要なものになっています。

そんな11月のある日、一通の手紙が私のもとに届きました。何やらとても新鮮な思いがしました。封を開けると、真っ赤に色づく一枚のもみじの葉と共にとても懐かしい母の文字。田舎からの便りには、移り行く季節の香りが漂いふっと心が止まりました。

その手紙は、思い出多い母からのもの、その文字から温かさが伝わるのを感じ「手紙はよいものだなあ」としみじみ思いました。

この感動を・・・そのまま・・・誰かに届けたくなくなり急いで便箋をひろげ、普段はメールで済ませている友達に季節の便りを書いてみました。

どんな返事が来るのか楽しみです。



## ? 用語の基礎知識 ?

男女共同参画に関する用語を取上げ、解説します。

## 男女共同参画社会

男女の人権が尊重され、女性だから、男性だからといった性別にとらわれることなく、自分らしさを発揮でき、男女が喜びも責任も共に分かち合える社会のこと。

## ポジティブ・アクション

過去における社会的・構造的な差別によって、現在不利益をこうむっている集団（女性や人種的マイノリティー）に対して、一定の範囲で特別な機会を提供すること等により、実質的な機会均等を実現することを目的とした暫定的な措置。

## リーガルリテラシー

自分にはどんな権利があり、その権利を行使するために、どのように手続きをすればよいのかを理解する能力、つまり、そのための法律や関連制度の存在を知り、その知識を使いこなすことのできる能力のこと。

## 表紙の写真



井上さんは、40歳を過ぎてから絵画をはじめられて17年のキャリア。一期会の会員としても活躍され、第38回一期会展（平成15年）へ出展された作品では、大賞を受賞されておられます。

## ● ● 編 ● 集 ● 後 ● 記 ● ●

日本女性会議の記念講演で、瀬戸内寂聴さんは、「自分にされていやなことは、他人にしてはならない」「恨みの連鎖を断ち切る」恨みを恨みで返しては永久に平和は来ない。「たった1つの掛け替えない命を大切に」「自分だけで生きているのではなく生かされている」と力強く語られました。

憂えるニュースを耳にする度に、この言葉が重なります。一人、ひとりの心の中に平和を願いつつ…より親しみやすい「モア」をめざして編集いたしました。ご意見、ご感想をお寄せください。